

# 産学イノベーション支援センター NEWS

CONTENTS

Vol.13 Sep. 2020

- <トピックス>  
新体制メンバーの紹介と挨拶
- 理事会、定期総会の開催
- <トピックス>オンラインサロン
- 公募情報

## ● 連絡先 ● 宇都宮大学 産学イノベーション支援センター

〒321-8585 栃木県宇都宮市陽東7丁目1番2号 TEL:028-689-6316 FAX:028-689-6320  
E-mail sangaku@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp URL http://www.sangaku.utsunomiya-u.ac.jp

## ● <トピックス> 新体制メンバーの紹介と挨拶 ●

### ■ 高山センター長

産学イノベーション支援センターは3年目を迎え、新たな体制で活動を進めております。本センターの役割は、英訳名称 Center for Industry-University Innovation Support;CIUIS から明らかなように、本学の研究をイノベーション創生、さらには産学連携に繋げる活動の支援です。研究シーズを産業に結び付けるための競争的資金獲得の支援、地域企業ニーズを本学教員と結び付け共同研究に繋げる支援も行います。産学連携の基盤となる知的財産の管理と出願を支援します。本学が地域産業に貢献するために、産学官金連携の前段階となる交流を支援します。加えて、教員の研究活動、共同研究を研究設備と研究開発スペースの提供により支援しております。



このように、本学の産学連携活動に貢献すべく、スタッフ一同、一体となって努力して参りますので、本センターの活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ■ 平田部門長 (産学連携・イノベーション・知財部門)

2020年4月から前任の高山教授に代わり、産学連携・イノベーション・知財部門 (Collaboration Department for Innovation; CDI) の部門長を仰せつかることとなりました。CDIは文字通り、産学官金連携と知的財産の管理・運用、さらには学内の優れた研究計画・研究成果をイノベーション創生に繋げる役割を担います。具体的には、企業・大学間共同研究の斡旋、大学シーズの広報活動、企業ニーズの教員への取次、産学連携のための研究会、研修会、展示会への参加・開催支援、本学教員の起業支援などを通じて、地域の企業等と大学を結ぶハブとして機能します。



また、学内の研究・開発の過程で生まれた新しいアイデア・成果の出願や権利化支援、知的財産の保護・活用支援、知的財産に関する契約・交渉援助を行い、知的財産の保護・活用等による研究活動の活性化と外部機関との連携を支援します。さらに、先端研究、異分野融合研究、インキュベーション推進のための研究開発スペースの提供、若手研究者海外派遣、外国人研究者招聘、大学院学生研究開発支援等を通じて研究の芽を育て、得られた成果を産業に繋げる活動を行います。

今後とも CDI の活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

### ■ 松本部門長 (先端計測分析部門)

先端計測分析部門では、各種の分析機器をはじめとする本学保有の大型共用設備を活用した教育研究支援を行っており、設備の修理・メンテナンスといった「維持業務」、更新計画の策定や設備導入検討といった「管理業務」、設備の予約・課金処理や利用講習の実施といった「運用業務」等、その業務は多岐に渡ります。また平成29年度に文部科学省が行う先端研究基盤共用促進事業「新たな共用システム導入支援プログラム」に採択され部門が事業実施部局となったことから、学内に点在する教育研究設備の共用化の推進にも先導的に取り組んでいます。一方、学内利用において余剰となったマシンタイムを有効活用した「学外向け受託分析サービス」も提供しており、「産学連携研究の推進」や「地域活性化の中核的拠点としての機能強化」にも力を注いでいます。



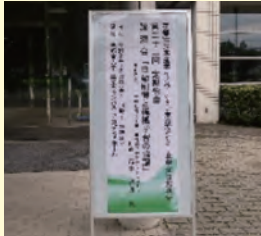
教育研究設備と聞けばとかく「機器」そのものだけに注目されがちですが、機器を健全な状態で維持しその性能を最大限に活かすための「技術人材」と、これら双方を戦略的に機能させる「マネジメント」との三位一体のアクションが何より重要であると当部門では考えています。このような当部門の活動とポリシーにご理解を頂き、今後ともご協力を賜れますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ● 理事会、総会の開催報告 ●

産学交流振興会は、7月31日（金）の午後、宇都宮大学陽東キャンパスで第22回の理事会（地域デザイン科学部11号館）、定期総会（アカデミアホール）を開催しました。過半数の参加（委任状も含めて）で理事会、総会ともに成立し、提出された議案3題はいずれも賛成多数で承認されました。

- ・第1号議案 令和元年度事業報告・収支決算（案）について
- ・第2号議案 令和2年度事業計画（案）・収支予算（案）について
- ・第3号議案 役員の変更（案）について

理事会では、宇都宮大学の地域創生推進機構の塚本機構長が、機構の活動紹介も含めて、挨拶をされました。また総会では栃木県観光労働部工業振興課の小林課長、宇都宮大学の石田学長からご挨拶を頂きました。（レクター）



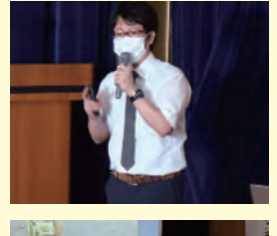
総会（藤井会長）



小林課長（栃木県）



石田学長



鈴木助教

## 講演会

総会后、「自動制御と機械学習の協調」の演題で、宇都宮大学 工学部基盤工学科 情報電子オプティクスコースの鈴木雅康助教に講演をして頂きました。両研究分野の基礎的なことから、アプローチの違い、さらにその融合研究がすごい勢いで進んでいることまで、分かり易くお話して頂きました。

## ● &lt;トピックス&gt; オンラインサロン ●

産学イノベーション支援センターでは、昨今の状況を鑑み、広くオンラインで情報提供することを計画しています。その一環として、オンラインサロンを開催しました。WEB（ZoomMeeting形式）を利用しますので、会場に出向かなくても、気軽に参加、聴講できます。今後もぜひご参加ください。

第1回のオンラインサロンは、9月4日（金）15:00～16:45（15:00開場、15:30開始）、以下の内容で実施しました。

講師：宇都宮大学産学イノベーション支援センター センター長 高山善匡 教授  
演題：20年後の自動車を考えるー軽量化と材料工学ー

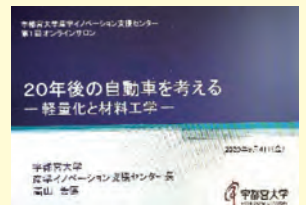
この様なシステムに慣れていない方向けに配信のテストも行い、サロンには40名の方に参加頂きました。最初に高山教授が学生達と20年前に行った未来予測と現在のお話があり、更に先生の研究内容を踏まえて、未来の社会における自動車の方向性を語って頂きました。講演後、質疑応答も行われました。

第2回オンラインサロンは、以下のように予定しています。

日時：11月13日（金）15:00～16:30 ZoomMeeting形式

講師：宇都宮大学 工学部 基盤工学科（電気系） 平田光男 教授

内容：先端制御理論によるエンジン制御系のモデルベース開発とAI活用に向けた取り組み



## ● 公募情報 ● 宇都宮大学と共に公的資金の獲得を目指しませんか？

- 産学交流振興会 共同研究助成（目安：9月中旬～10月末）
  - ・宇都宮大学との共同研究への支援 <http://www.sangaku.utsunomiya-u.ac.jp/shinkokai.html>
- 経産省 戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン）（目安：1月末～4月末）
  - ・特定ものづくり基盤技術（12分野）の高度化につながる取組を支援 <http://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/sapoin/index.html>
- 農水省 イノベーション創出強化研究推進事業（目安：1月初旬～2月初旬）
  - ・革新的技術開発を基礎～実用化研究まで継目なく支援 <http://www.naro.affrc.go.jp/laboratory/brain/innovation/index.html>
- 環境省 環境研究総合推進費（9/28～10/28）
  - ・気候変動問題対応、循環型社会実現、自然環境との共生等の環境分野のほぼ全領域にわたる研究開発を推進 <https://www.erca.go.jp/suishinhi/index.html>